

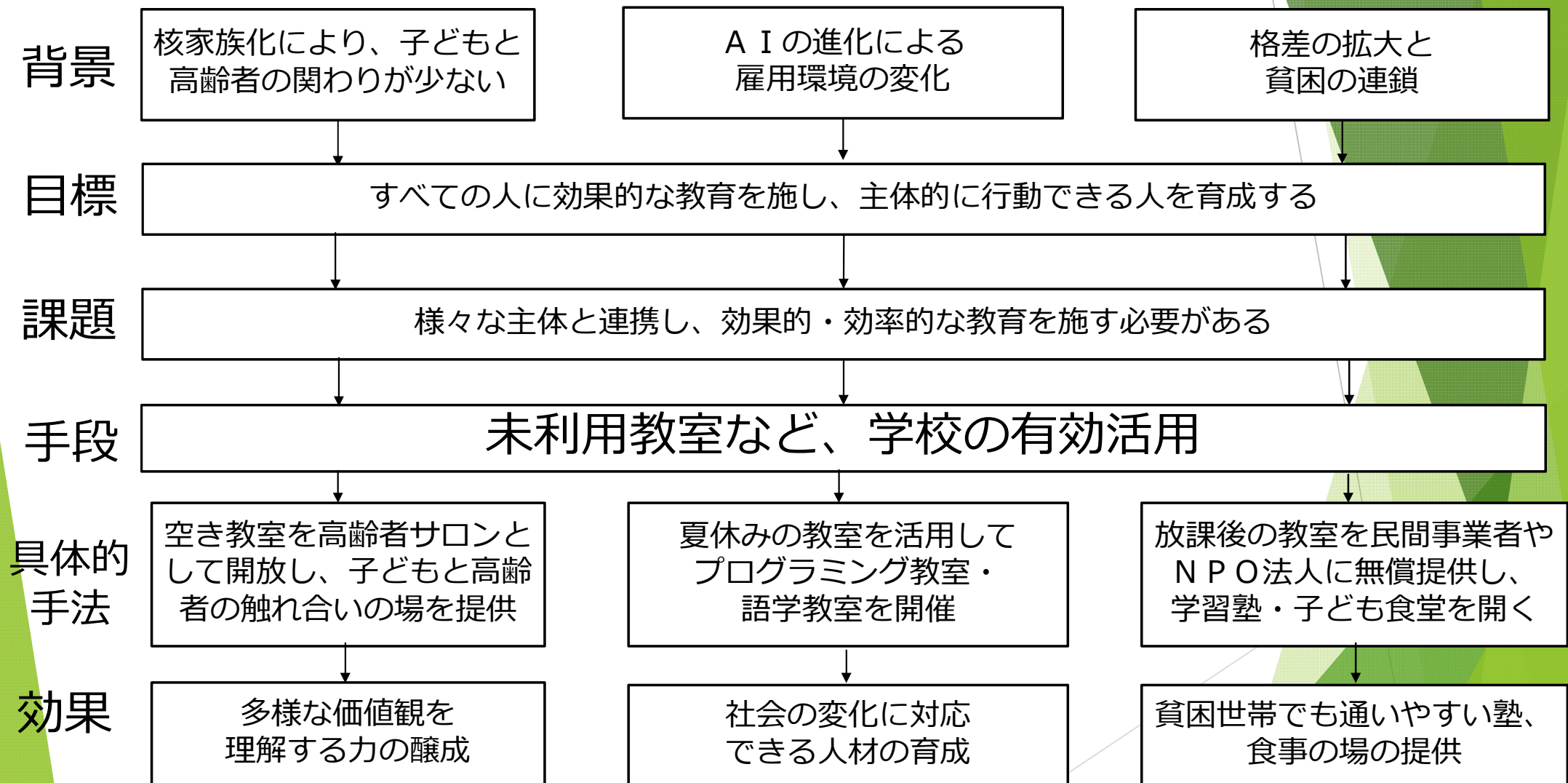
Seeding for the future of Shiga

肥後華織、石神愛海（滋賀県立大学）

馬場亮輔、亀石弥都（立命館大学）

堀江明（龍谷大学大学院）

概要



概要

背景

核家族化により、子どもと高齢者の関わりが少ない

AIの進化による雇用環境の変化

格差の拡大と貧困の連鎖

目標

すべての人に効果的な教育を施し、主体的に行動できる人を育成する

課題

様々な主体と連携し、効果的・効率的な教育を施す必要がある

手段

未利用教室など、学校の有効活用

具体的手法

空き教室を高齢者サロンとして開放し、子どもと高齢者の触れ合いの場を提供

夏休みの教室を活用してプログラミング教室・語学教室を開催

放課後の教室を民間事業者やNPO法人に無償提供し、学習塾・子ども食堂を開く

効果

多様な価値観を理解する力の醸成

社会の変化に対応できる人材の育成

貧困世帯でも通いやすい塾、食事の場の提供

背景

- 核家族化の進行
- AI技術の進歩
- 子どもの貧困と格差の問題

目標

**すべての人に効果的な教育を施し、
主体的に行動できる人を育成する**

課題

様々な主体と連携し、効果的・
効率的な教育を施す必要がある

概要

背景

核家族化により、子どもと高齢者の関わりが少ない

AIの進化による雇用環境の変化

格差の拡大と貧困の連鎖

目標

すべての人に効果的な教育を施し、主体的に行動できる人を育成する

課題

様々な主体と連携し、効果的・効率的な教育を施す必要がある

手段

未利用教室など、学校の有効活用

具体的手法

空き教室を高齢者サロンとして開放し、子どもと高齢者の触れ合いの場を提供

夏休みの教室を活用してプログラミング教室・語学教室を開催

放課後の教室を民間事業者やNPO法人に無償提供し、学習塾・子ども食堂を開く

効果

多様な価値観を理解する力の醸成

社会の変化に対応できる人材の育成

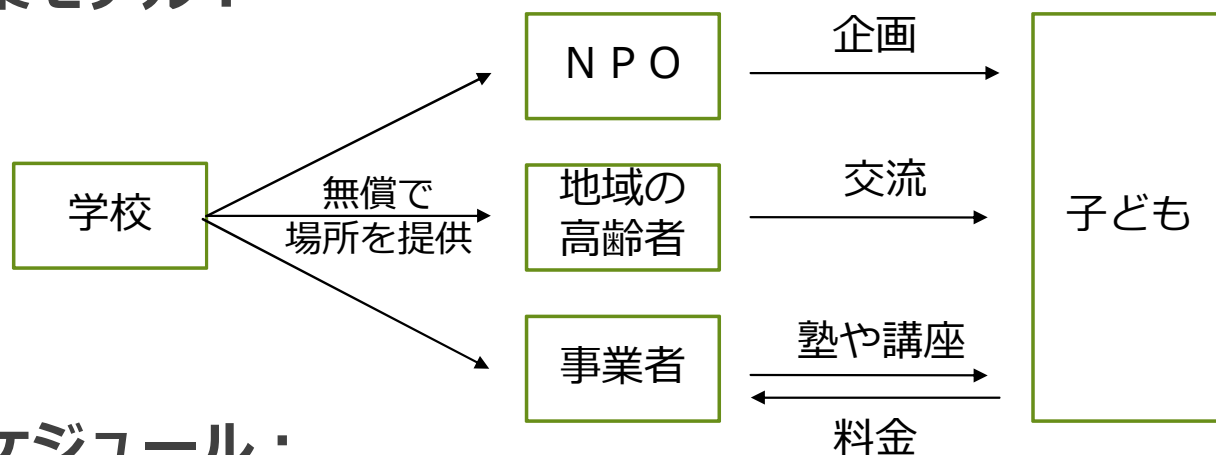
貧困世帯でも通いやすい塾、食事の場の提供

事業名「みらいのたね」

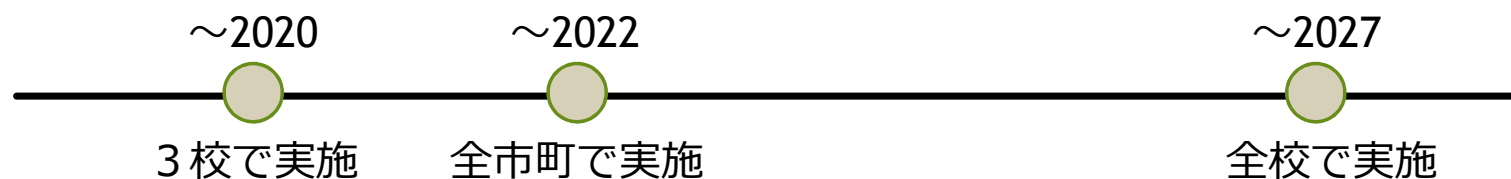
- ▶ **場所：滋賀県内の小学校**
- ▶ **パートナー：民間塾・NPO・地域の高齢者**
- ▶ **事業内容：様々な主体の経験や
ノウハウを活かし、子どもを教育**

事業名「みらいのたね」

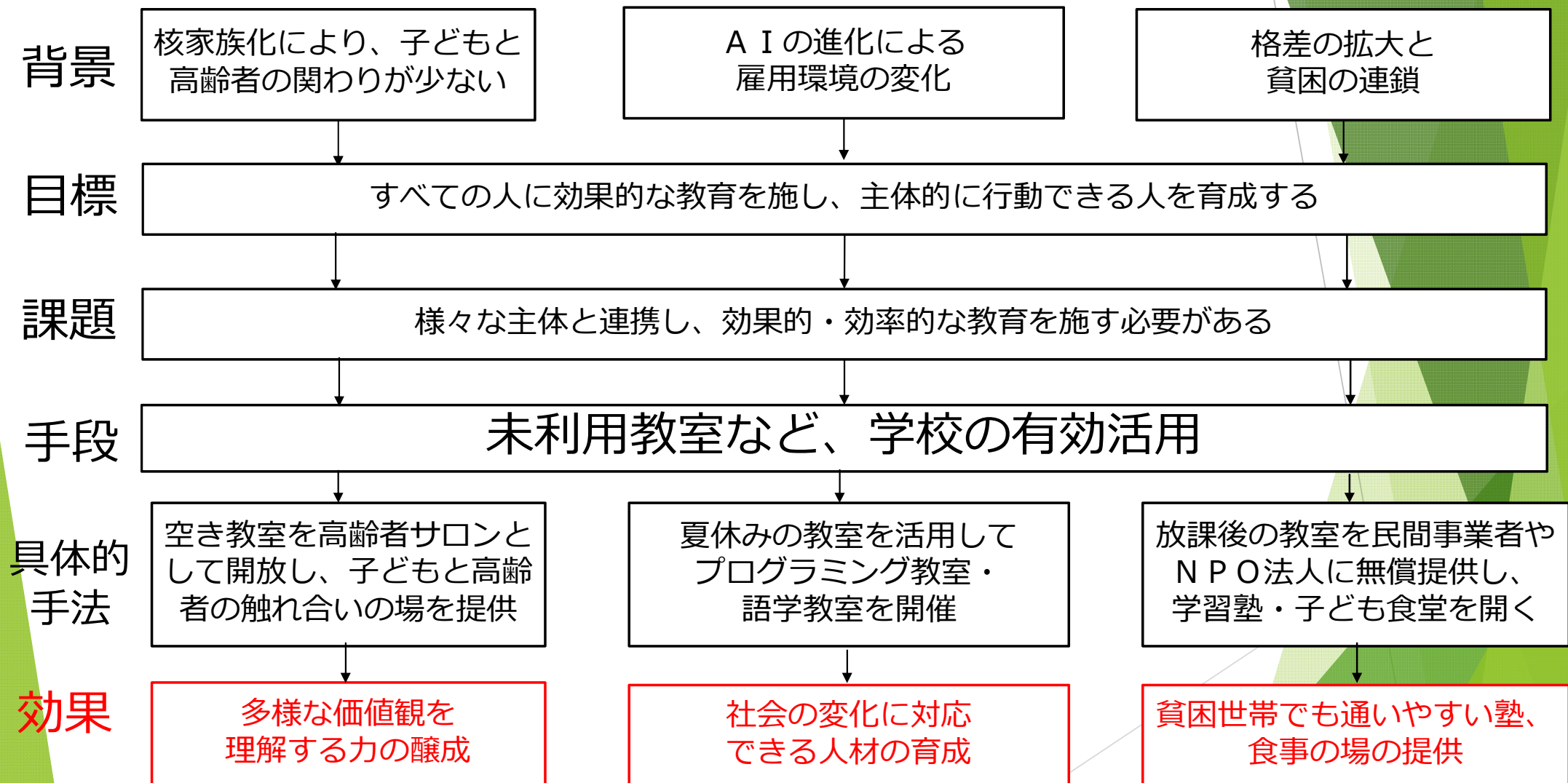
▶ 事業モデル：



▶ スケジュール：



概要



成果

顧客・パートナー

こども

- ・ 多様な価値観の理解
- ・ 社会の変化に対応できる人材

高齢者

- ・ 生きがい

家庭

- ・ 貧困世帯でも
通しやすい塾
- ・ 食事の場の提供

高度人材増加
知名度向上

滋賀県

社会

連鎖や効果

- ▶ 先進的な取り組みを行い、滋賀モデルを全国の自治体に波及させる。
 - ※ 具体的成果・認知度向上の場が必要
- ▶ 滋賀県のような社会人と触れ合うことにより、生徒が滋賀県に愛着を持つ。
 - ⇒ Uターンの促進
- ▶ 県外に出た人が滋賀県の教育システムの認知度を向上させ、教育熱心な親子が滋賀に移住する。
 - ⇒ 転入者の増加
- ▶ 滋賀県：経済活性化
 - ⇒ 税収の増加により、様々な分野への再投資が可能に
- ▶ 産業：後継者不足の解消、技術・文化・思想の継承
 - ※ 起業家育成の視点も必要

課題

- ▶ 学校内で起きたトラブルの責任の所在
- ▶ 校内利用にあたっての法的・人的制約への対応
- ▶ 成果指標の設定
- ▶ サービス利用者の制限、線引き
- ▶ 不登校の子どもへのフォロー



みらいのたね

4 質の高い教育をみんなに

2 飢餓をゼロに

10 人や国の不平等をなくそう

1 貧困をなくそう

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

